

ルーズベルト大統領來訪 植民にて米を参考に



深長な一席を述べて出港

オリの日の日

國軍艦及飛行機に護衛され、
砲艦から發する廿一發の祝砲、
そして最も威風堂々九時五分、
マリアの岸壁に到着し、折衝禮泊

中の各船も一せいに汽笛を鳴らし、
して威風を表す。大さう領は十時少し過ぎ、
折衝降り出した小艇の下に出迎へ、
迎へのダブルガス大さう領と同乗

所を一巡、午後三時五十分下院

を訪問し、マサニラ市内を見物しつゝ

の公用自動車で市内を見物しつゝ

豫定のプロカラム通りテルエカの

大さう領提唱の汎平和會議

立つて歡迎の辞を演説の親善關係

へ對し、ル大

國は廣大なる面積を所

有し、然もその大部分は植

民を必要とする未開地で

あるが植民については北

米が行つた多くの誤った

政策について伯國は學ぶ

べき點が多いであらう。

此報の如く南大河フランチャ派代表

に於て否決され、聯盟に於けられ

大さう領が補足提案の後任

ジョアン・ホヴァニス氏は現

在日、ル北米大使補足提案の後任

大さう領が補足提案の後任

